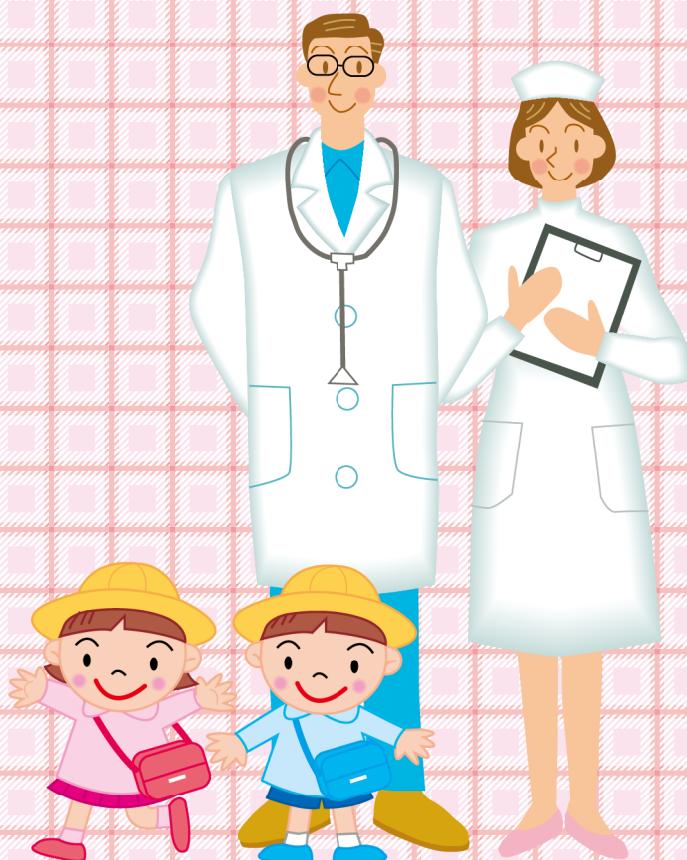


神奈川県医師会保育園医部会

『保育園における健康診断マニュアル』

2015



神 奈 川 県 医 師 会

もくじ

●はじめに 1

第1章 望ましい健康台帳 1~4

第2章 健康診断の概要と時期 5

1 定期健診 5

1) 入園時健診 5

2) 前期健診 5

3) 後期健診 5

2 臨時健診 5

3 入園前健診 5

第3章 その他の健診などとの連携 6

第4章 保育園における健康診断 6~15

1 健康診における役割 6

2 健康診断の準備 7

3 健康診断の内容 16

4 健康診断のあとに 16

1) 結果の記録および報告 16

2) 結果に関する説明会 16

3) 個別相談 16

●おわりに 17

● 健康記録（1） 18

● 健康記録（2） 19

● 図1 乳幼児（男子）身体発育曲線（身長） 20

● 図2 乳幼児（男子）身体発育曲線（体重） 21

● 図3 乳幼児（女子）身体発育曲線（身長） 22

● 図4 乳幼児（女子）身体発育曲線（体重） 23



●●●はじめに●●●

神奈川県医師会保育園医部会では、毎年調査研究小委員会を作り、テーマを定めて1年間調査研究を行い、その結果を報告書にまとめています。

平成24年度にはテーマを「保育園における健康診断」と定め、時期、内容、記録方法などを検討し、『保育園における健康診断マニュアル 2013』にまとめ、報告いたしました。

平成27年度は、前回のマニュアル作成時から変更の生じた「予防接種関係」や「園医、保育士、保護者の協力」も注視しながら、今後の保育園における健康診断の充実を図るべくこの健診マニュアルの改訂版をまとめました。

これから園医活動の参考としていただき、神奈川県における保育保健の質の向上のために活躍してください。

第1章 望ましい健康台帳

1 平成14年度「保育園における望ましい健康台帳」

保育園における健康管理の記録のまとめ方に関して、神奈川県医師会保育園医部会で平成14年度の調査研究事業として「保育園における望ましい健康台帳」を検討し、発表しております。

その概要を説明し、健康台帳として揃えておく資料を確認する。

1) 健康記録(1)：出生から現在までの健康管理に関するサマリー(まとめ)。

予防接種の記入欄が少なかったため、現状に即したものに拡張した。

2) 健康記録(2)：定期健康診断の結果を記録する用紙(0～5歳児記録が一覧)

3) 成長(発育)曲線(男女別)：成長を評価する。

以上の3資料は最低どこの保育園でも用意しておき、健康診断の場で園医が必要な時いつでも参照できるよう、整理しておいて欲しい。

1) 健康記録(1)

健康台帳の第1頁目に綴じ、入園案内などの折に保護者に渡して、入園までに母子手帳などを参照して記入してもらい、入園時に提出してもらう。

なお、在園中の予防接種の追加や、り患した病気の記録なども追加していく。

その他、入園までの健診および発育についての欄があり、かかりつけ医、備考までが1枚の健康記録(1)としてまとめられる。イメージを表1に示した。

表1. 健康記録(1)のイメージ表

個人情報	
既往歴	
予防接種歴	
入園までの経過	
かかりつけ医	
備考	

最近の予防接種に対応できるよう予防接種記録欄を改訂しました。(表2.を参照)

表2. 予防接種記録欄（改訂版）

予防接種歴と既往歴副作用歴	接種回数	接種済※	未接種※	感染既往※※	副反応※※※
①肺炎球菌	1回目			無・有()	無・有()
	2回目				
	3回目				
	追加				
②ヒブ	1回目				
	2回目				
	3回目				
	追加				
③四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	I期 1回目				
	I期 2回目				
	I期 3回目				
	追加				
④三種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風)	I期 1回目				
	I期 2回目				
	I期 3回目				
	追加				
⑤ポリオ(生)	1回目				
	2回目				
⑥不活化ポリオ	1回目				
	2回目				
	3回目				
	追加				
⑦B C G					
⑧MR(麻しん・風しん)	I期				
	II期				
⑨水痘	初回				
	追加				
⑩口タ	1回目				
	2回目				
	3回目				
⑪B型肝炎	1回目				
	2回目				
	3回目				
⑫おたふくかぜ	1回目				
	2回目				
⑬日本脳炎	I期 1回目				
	I期 2回目				
	I期追加				
⑭その他 ワクチン名: ワクチン名: ワクチン名: ワクチン名:	回目				
	回目				
	回目				
	回目				

備考：※接種済、未接種の欄に○を記入

※※既に感染した事がある場合は「感染既往」欄に病名を記入して下さい

※※※副反応があった場合、「有」の()内に具体的な反応を記入して下さい

(例：発熱、しこり、発赤等)

予防接種歴、これまでに罹った感染症などの欄は多少余裕が必要でしょう。

かかりつけ医についても、これから健康管理にどうしても必要となりますので確認し、まだ未定の場合には、すぐかかりつけ医を作るよう指導しましょう。

予防接種に関しては、入園時に必要な予防接種(表3)をあらかじめ保護者には知らせておき、未接種のものがあれば速やかに接種するよう指導しましょう。

保育園に入る前までに、予防接種で防げる感染症に対する予防接種は、しっかり受けましょう。

表3

●受けておきたい予防接種
肺炎球菌、ヒブ、四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)、不活化ポリオ、BCG、MR(麻疹・風疹)、水痘、ロタ、B型肝炎、おたふくかぜ、日本脳炎



注) なるべく早くかかりつけ医に相談して、接種計画をたて接種を勧めましょう。

2) 健康記録 (2)

定期健康診断の折に、その結果を記録しておくための用紙です。そのイメージを表4.に示しました。巻末にはイメージでなく健康記録(1)、(2)および成長(発育)曲線(最新版男、女)を掲載しています。

表4. 健康記録 (2)

子どもの氏名 : (ふりがな)								
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児
気になること	保護者 保育士							
身体計測値	4月 * 3月	身長・体重 毎月の 計測値						
前期健診記録 身体発育 運動機能 精神発達 聴覚・視覚								
総合判定 園医印								
後期健診記録 身体発育 運動機能 精神発達 聴覚・視覚								
総合判定 園医印								
注意事項								
備考								

健診の前に保護者から、自分の児について気になることが有り、園医に相談したいことがあるかを調査しておき(チェックリストを4章に掲載、参考に)、該当する欄に書きこんでおく。また保育士も気になることがあれば同様に書き込んでおき、園医は健診の時この表を参照しながら進めます。

身長と体重は毎月計測し、その値を記録表に記入し、同時に成長曲線へプロットし、健診の際園医に参考にしてもらいます。成長曲線への記録の結果については、園医にとって身体発育の評価が、本人をみながら、この曲線を一瞥するだけでできてしまうので、多くの園医より、ぜひどの保育園でも用意してもらいたいと、望まれていました。

健診で評価しておくべき項目として、身体発育、運動機能、精神発達、および聴覚・視覚などがあげられ(それぞれに関しての重要チェックポイントは4章を参照)、この様に配置し整理してあります。

健診結果の記録は、使い易さを考えて、6年間の記録が1枚の健康記録用紙に納まるよう編集した。しかし、この記録用紙では細かな発達のチェックなど出来ないので、運動機能、精神発達、および聴覚・視覚に関する記録は表5.に健診のポイントを一括して掲載しました。

●印は認められたとき、問題意識をもって見守って欲しい精神発達に関する症状です。

これらのポイントを中心に各年齢の問診票(表6~12)を作成しております、コピーしてご利用ください。

健診のポイント

表5.に発達の遅れ(発達障害)および器質的障害を疑うポイントをあげました。健診の際には、この点に十分配慮してください。

表5. 運動機能、精神発達、および聴覚・視覚に関する健診でのポイント

	運動機能	器質的な障害の疑い
0歳児	4か月：首がすわらない 10か月：座りできない	原始反射が6か月過ぎても残る 6か月：首がすわらない けいれんが反復する
1歳児	1歳：つかまり立ちができない 1歳4か月：ひとり歩きできない	音に反応しない(音が聞こえていない) 1歳6か月を過ぎても歩けない
2歳児	ことばが出ない 2歳6か月：ジャンプができない	歩くとき踵が床に着けない
3歳児	すぐ噛みつくあるいは引っ搔く お友達と遊べない からだのバランスが悪い	3歳：まったくことばが出ない 気になる症状が複数ある (何か具体的な症状名) 気になる症状が長期あるいは反復する
4歳児	遊びのルールが守れない(分からない) すぐ暴力をふるう 奇声をあげる 集団への指示では伝わりにくい (保育士のいうこと聞かない等)	周りの雰囲気を感じとれない 運動時の体のバランスが悪い 視力が1.0以下
5歳児	パニックをよく起こす 落ち着きがない(じっとして居られない) スキップができない	目標に向かって真っ直ぐ歩けない オウム返しの応答ができない

3) 成長(発育)曲線(男女別)

身体発育の評価をするには、欠かせないものですので、保育担任にとっては大変な仕事になりますが、ぜひこの曲線を利用して下さい。

標準となる曲線が10年毎に変りますので、なるべく新しいもの「巻末参照」を使ってください。

第2章 健康診断の概要と時期

1 定期健診

1) 入園時健診

入園して間もなく(1か月以内)行う健診で、保護者同伴での健診となる。入園時に提出されたこれまでの健康記録の確認を行い、集団保育で支障が無いかをチェックする。特に既往歴及び予防接種歴には注意し、抜けている予防接種などあれば指摘して、速やかに接種するよう指導する。



この健診では、身体発育、運動機能、ことばの発達状況などに特に注意を払っていただきたい。

2) 前期健診(5~6月)

新しいクラスになり日も浅く、やっと慣れてきたばかりで、担当の保育士もまだしっかり個々の問題点を把握しきれていない時期です。

身体発育の評価はしっかりとできるが、運動や精神的な評価は要経過観察が多くなる。

これからの保育生活の中で特に留意する問題が有るのか、現状では特に問題ないのか、その程度の評価は必要である。

3) 後期健診(9~10月)

集団での保育生活にも慣れ、いろいろなイベントも経験し、保育士も個々の問題点に関して、しっかりと把握しており健診としては、最適の時期であろう。

この健診では、保育士および保護者からの気になる問題点に、しっかりと答えることが重要です。また、前期からの保留事項もかなり解決する時期でもあります。

そこで、種々問題点の解決に向けて、保育士や保護者に対して園医として面接や助言が必要になってきます。健診後の対応方法に関して、保育園とよく相談して決めてください。

2 臨時健診

具体的にどのような場合に臨時健診が必要かは、明確にされておらず、必要な時には臨時健診を行うとだけ規定されている。(学校保健安全法)

目的が明確であり、その目的に沿った健診内容が要求される。

想定される臨時健診

- 1) 多数の園児が、短い期間に病気に罹った場合
感染症の大流行、食中毒の発生など
- 2) 大きな災害・事件などを経験した場合
火事、自然災害、大きな事件や事故に遭遇した
- 3) その他、施設長が必要と判断した場合

3 入園前健診

入園前の時期に集団生活における留意事項が有る児か、特に問題ない児なのか、おおまかでも評価しておくと、入園後の新学期に移行し易くなると考えられる。

ただし、入園前には園児として取り扱うのが難しく、行政との相談でこの様な時期に健診ができると、入園までの準備が充実するものと考える。

第3章 その他の健診などとの連携

市町村で行われる定期健診はかなり受診率が高いが、保育園へ通園している子どもたちの受診は、その他の子どもたちより低い傾向にある。受診の有無や、その時の結果や助言など情報を確認するとともに、未受診者には受診を勧めましょう。

主治医に定期的に健診を受けている子もいます、それらの情報も確認しておきましょう。また、園の健診結果も保護者を介して主治医へ届くような関係を築きましょう。

その他、健診で気になるのは、発達障害、視覚および聴覚の健診です。発達障害に関しては専門医が少なく、巡回相談・診断や児童相談所などが窓口になって、専門の医療機関などと連携しているところが多い。連携体制を整え、上手に利用しましょう。

視力低下が疑われる子は5歳までに眼科などへ園医から紹介してもらいましょう。保育園でスクリーニング検査ができるば良いのですが、簡単な検査法が日本眼科医会より示されているので研修してみてください。(日本眼科医会のホームページは <http://www.gankaikai.or.jp/> です。)

聴覚に問題がありそうな子は、できるだけ早く耳鼻科へ紹介しましょう。

第4章 保育園における健康診断

1 健康診断における役割

1) 保育士

①健診の前に

- 園医および保護者と健診の目的、手順、結果の取り扱い方などを調整する。
- 保育士および保護者より園医にみてもらいたいことや相談したいことなどを調査し、まとめておく。参考資料などあれば用意する。
- 園児に健診の手順を説明しておく。

②健診時

- 園医に保育士および保護者よりみてもらいたいことや相談したいことなどを簡明に伝え、資料なども提示する。
- 対象児の状態を説明する。
 - ・身体発育
 - ・運動機能、精神、情緒の発達
 - ・集団生活における適応など
- 園医の健診結果を記録する。
- 必要に応じて、園医より保育生活および家庭生活における助言をもらう。

③健診のあとに

- 健診結果を保護者へ伝える。保護者の理解が十分でない場合、園医(あるいは主治医)を交えた相談なども検討する。
- 園医よりの助言を保育生活の中に活かす。

2) 保護者(利用者)

①健診の前に

- 健診の目的、手順、結果の取り扱い方などを確認しておく。
- 園医にみてもらいたいことや相談したいことなどを簡明に伝える。

②健診のあとに

○健診結果をしっかり受け止める。分からることは確認する。

○家庭生活における助言などあれば、生活の中で活かす。

3) 園医

①健診の前に

○一人ひとりの身体発育から運動機能、精神、情緒の発達さらに集団生活における適応などについて、効率よく評価できる健診の手順を、園と打合せる。

②健診時

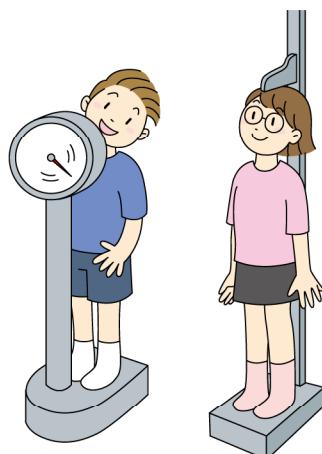
○健診結果を正確に、立会の担当者(保育士)へ伝える。

③健診のあとに

○必要に応じて、保護者および保育士との相談の場を設ける。

2 健康診断の準備

1) 身体計測



身長と体重の測定は毎月行われているところが多い、この計測値を成長(発育)曲線にプロットして、問題事例は園医に相談する。健診の時には必ずこの記録は用意する。これはどの園でも必ず実行してもらいたい。(多くの園医からの要望です)

2) 保護者から気になること(園医に相談したい)を聞いておく



保護者には健診の日を連絡すると共に、最近(前回の健診以降)罹った病気や接種したワクチンを聞き、園医に相談したい事や気になることが有るかを確認しておくとともに、母子手帳の持参を周知する。
できれば子どもの年齢に合わせた問診票(これだけは聞いてもらいたい項目を、年齢毎に作成したので参照してください)を作っておき、チェックできると聞き漏れが少なくなるでしょう。問診票に関しては、母子手帳や市町村の健診用の問診票などを参考に園医と相談して作ってください。

表6. 入園時健診における問診票

入園時健診用・問診票 クラス（ ） 氏名（ ）（ 歳 ヶ月）

記録日 年 月 日 記録者氏名（ ） 園児との続柄（ ）

この問診票は 月 日 予定の入園時健診の際の資料として使います。

入園時に提出された健康記録に漏れたことなども書いてください。

各設問に対して、該当するものに○印を付け、具体的に答えられるものは、() 内に記載してください。

1. これまでの重い病気や障害を残すような病気にかかりましたか

なかった、 かかった（具体的に：

2. 入園時の記録に漏れたあるいはそれ以後受けた予防接種

なし、 あり（具体的に：いつ 、何を

3. からだの発育について、気になること、相談したい事

なし、 あり（具体的に：

4. 運動機能について、気になること、相談したい事

なし、 あり（具体的に：

5. ことばの発達について、気になること、相談したい事

なし、 あり（具体的に：

ありがとうございました。

健診の結果は担当の保育士より、連絡申し上げます。

入園時健診の対象は、0～5歳とひろく、すべての設問が漠然としていますが、問診としてはこの程度でよいでしょう。

表7. 0歳児健診問診票

0歳児健診用・問診票	クラス()	氏名()	()ヶ月
記録日 年 月 日	記録者氏名()	園児との続柄()	
この問診票は 月 日予定の定期健診の際の資料として使います。			
各設問に対して、該当するものに○印を付け、具体的に答えられるものは、()内に記載してください。			
1. この6か月間、かかった病気で園を3日以上休んだことはありますか なし、あり(具体的に):			
2. この6か月間、何か検査を受けて異常を指摘されましたか なし、あり(問題点あれば):			
3. からだの発育について、気になること、相談したい事 (母子手帳の身長体重曲線に実際に記入してみてください) なし、あり(具体的に):			
4. 運動機能について、気になること、相談したい事 (はいはい、つかまり立ちなどいかがですか) なし、あり(具体的に):			
5. ことばの発達について、気になること、相談したい事 (アバアバ、ブウブウ、アーアーなど声を出しますか) なし、あり(具体的に):			
<p>ありがとうございました。 健診の結果は担当の保育士より、連絡申し上げます。 なお、6か月までに聴覚のスクリーニング検査を受けましょう。 1歳までに、よい生活リズムを身につけさせましょう。 1歳になったら、MR(麻しん、風しん)混合ワクチンの接種を受けましょう。 2歳まではテレビやビデオはできるだけ見させないようにしましょう。</p>			

問診票に記載することによって、保護者に自分たちでも子どもの発育・発達を評価できるようにしたいと工夫してあります。

最上段()月)は子どもの月齢を入れてもらいます。

予防接種はなるべく必要なものを、忘れずに接種するよう働きかけましょう。

0歳は人生で最も発育・発達の著しい時期です。子どもたちの日々の成長をしっかり見届けましょう。(保護者と一緒に)

保育士も変にからだがぐにゃぐにゃしているとか、どうも抱きにくいなど、肌で感じた気になること、大きな問題を含んでいることもあります。

あやしても笑わない、ほとんど声を出さないなど気になることがあったら、健診医にしっかりと質問しておきましょう。

表8. 1歳児健診問診票

1歳児健診用・問診票	クラス()	氏名()	(1歳ヶ月)
記録日 年 月 日	記録者氏名()	園児との続柄()	
この問診票は 月 日予定の定期健診の際の資料として使います。			
各設問に対して、該当するものに○印を付け、具体的に答えられるものは、()内に記載してください。			
1. この6か月間、かかった病気で園を3日以上休んだことはありますか なし、あり(具体的に:)			
2. この6か月間に受けた予防接種はありますか (MR混合、おたふくかぜ、みずぼうそう、四種混合、日本脳炎など) なし、あり(具体的に:)			
3. 最近6か月間に何か検査を受けて異常を指摘されましたか なし、あり(問題点あれば:)			
4. からだの発育について、気になること、相談したい事 (母子手帳の身長体重曲線に実際に記入してみてください) なし、あり(具体的に:)			
5. 運動機能について、気になること、相談したい事 (つたい歩き、ひとり歩き、歩き方、手指の動きなどいかがですか) なし、あり(具体的に:)			
6. ことばの発達について、気になること、相談したい事 (ママ、ブーブーなど意味のあることばを話しますか) なし、あり(具体的に:)			
7. 目つき、目の動き、耳の聞こえなどで気になることはありませんか なし、あり(具体的に:)			
ありがとうございました。 健診の結果は担当の保育士より、連絡申し上げます。 なお、2歳まではテレビやビデオはできるだけ見させないようにしましょう。			

最上段(1歳ヶ月)は子どもの月齢を入れてもらいます。
1歳になったらMR混合ワクチンは、なるべく早く接種してもらいましょう。
立位歩行がしっかりできているか、再確認しておきましょう。
ことばとその時の表情などもよく観察しましょう。
斜視や難聴、さらにはコミュニケーションに問題が無いかも見てください。
よい生活のリズムはこの時期までに、しっかり身につけさせましょう。

表9. 2歳児健診問診票

2歳児健診用・問診票	クラス()	氏名()	(2歳ヶ月)
記録日 年 月 日	記録者氏名()	園児との続柄()	
この問診票は 月 日予定の定期健診の際の資料として使います。			
各設問に対して、該当するものに○印を付け、具体的に答えられるものは、()内に記載してください。			
1. この6か月間、かかった病気で園を3日以上休んだことはありますか なし、あり(具体的に:)			
2. この6か月間に受けた予防接種はありますか (MR混合、おたふくかぜ、みずぼうそう、四種混合、日本脳炎など) なし、あり(具体的に:)			
3. 最近6か月間に何か検査を受けて異常を指摘されましたか なし、あり(問題点あれば:)			
4. からだの発育について、気になること、相談したい事 (母子手帳の身長体重曲線に実際に記入してみてください) なし、あり(具体的に:)			
5. 運動機能について、気になること、相談したい事 (歩行、走行、手指の動き、ヒトの動作のまねなどいかがですか) なし、あり(具体的に:)			
6. ことばの発達について、気になること、相談したい事 (意味のあることばを話しますか) なし、あり(具体的に:)			
7. 目、耳、鼻について気になることはありませんか なし、あり(具体的に:)			
ありがとうございました。 健診の結果は担当の保育士より、連絡申し上げます。			

- ・最上段(2歳ヶ月)は子どもの月齢を入れてもらいます。
- ・ことばの発達に関しては保護者も強い関心をもつ時期です、園で気になることがありましたら、健診前に保護者と確認しあって、この問診票を作ってください。
- ・歩行はしっかりしていますか、右足・左足しっかり観察してください。
- ・自己主張がはじめ、生活習慣も乱れがちになりますが、チェックしてください。

表 10. 3歳児健診問診票

3歳児健診用・問診票	クラス（　　）	氏名（　　）	(3歳　　ヶ月)
記録日　　年　　月　　日	記録者氏名（　　）	園児との続柄（　　）	
この問診票は　　月　　日予定の定期健診の際の資料として使います。			
各設問に対して、該当するものに○印を付け、具体的に答えられるものは、() 内に記載してください。			
1. この6か月間、かかった病気で園を3日以上休んだことはありますか なし、あり（具体的に：）			
2. この6か月間受けた予防接種はありますか (MR混合、おたふくかぜ、みずぼうそう、四種混合、日本脳炎など) なし、あり（具体的に：）			
3. 最近6か月間に何か検査を受けて異常を指摘されましたか なし、あり（問題点あれば：）			
4. からだの発育について、気になること、相談したい事 (母子手帳の身長体重曲線に実際に記入してみてください) なし、あり（具体的に：）			
5. 運動機能について、気になること、相談したい事 (片足立ち、片足ケンケン、まねて○が描けますか) なし、あり（具体的に：）			
6. ことばの発達について、気になること、相談したい事 (ことばが増えていますか、名前は言えますか) なし、あり（具体的に：）			
7. 目、耳、鼻について気になることはありませんか なし、あり（具体的に：）			
8. 家事の手伝いやっていますか なし、あり（具体的に：）			
ありがとうございました。 健診の結果は担当の保育士より、連絡申し上げます。			

- ・最上段（3歳　　ヶ月）は子どもの月齢を入れてもらいます。
- ・左右どちらかの足で結構です、片足立ちが出来ることを確認してください。
- ・ことばは少しずつでも増えてますか。名前がはっきり言えるかな。
- ・お友達ができましたか。ごっこ遊びはできる。家で友だちのことを話しますか。
- ・家事の手伝い、簡単なことで結構です、長続きするようなことやらせてください。

表 11. 4歳児健診問診票

4歳児健診用・問診票	クラス()	氏名()	(4歳ヶ月)
記録日 年 月 日	記録者氏名()	園児との続柄()	
この問診票は 月 日 予定の定期健診の際の資料として使います。			
各設問に対して、該当するものに○印を付け、具体的に答えられるものは、() 内に記載してください。			
1. この6か月間、かかった病気で園を3日以上休んだことはありますか なし、あり(具体的に:)			
2. この6か月間に受けた予防接種はありますか (MR混合、おたふくかぜ、みずぼうそう、四種混合、日本脳炎など) なし、あり(具体的に:)			
3. 最近6か月間に何か検査を受けて異常を指摘されましたか なし、あり(問題点あれば:)			
4. からだの発育について、気になること、相談したい事 (母子手帳の身長体重曲線に実際に記入してみてください) なし、あり(具体的に:)			
5. 運動機能について、気になること、相談したい事 (片足立ち、左右ともケンケン、まねて□が描けますか) なし、あり(具体的に:)			
6. ことばの発達について、気になること、相談したい事 (ことばが増えてますか、友だちや園での話をしますか) なし、あり(具体的に:)			
7. 目、耳、鼻について気になることはありませんか なし、あり(具体的に:)			
8. 家事の手伝い、クラスでのお当番(役割) なし、あり(具体的に:)			
ありがとうございました。 健診の結果は担当の保育士より、連絡申し上げます。			

- ・最上段(4歳ヶ月)は子どもの月齢を入れてもらいます。
- ・歩く、走る、ケンケンなど運動時のからだのバランスをよく観察してください。
- ・視力の検査も必要です。特に問題なさそうでも。
- ・あそびや運動でのルールが守れるか、トラブルを起こしていないか、チェックを。
- ・園への送迎の際、保護者との関係を確認してください。

表 12. 5歳児・6歳児健診問診票

5歳児健診用・問診票	クラス（ ）	氏名（ ）	(5歳 ケ月)
記録日 年 月 日	記録者氏名（ ）	園児との続柄（ ）	
この問診票は 月 日予定の定期健診の際の資料として使います。			
各設問に対して、該当するものに○印を付け、具体的に答えられるものは、() 内に記載してください。			
1. この6か月間、かかった病気で園を3日以上休んだことはありますか なし、あり（具体的に：）			
2. この6か月間に受けた予防接種はありますか (MR混合、おたふくかぜ、みずぼうそう、四種混合、日本脳炎など) なし、あり（具体的に：）			
年長になりMR（麻しん・風しん）混合ワクチンの接種を受けましたか まだ、済んだ「接種した月を記入してください（ 月）」			
3. 最近6か月間に何か検査を受けて異常を指摘されましたか なし、あり（問題点あれば：）			
4. からだの発育について、気になること、相談したい事 (母子手帳の身長体重曲線に実際に記入してみてください) なし、あり（具体的に：）			
5. 運動機能について、気になること、相談したい事 なし、あり（具体的に：）			
6. ことばの発達について、気になること、相談したい事 なし、あり（具体的に：）			
7. 目、耳、鼻について気になることはありませんか なし、あり（具体的に：）			
8. 家事の手伝い、クラスでのお当番（役割） なし、あり（具体的に：）			
ありがとうございました。 健診の結果は担当の保育士より、連絡申し上げます。			

- 最上段（5歳 月）は子どもの月齢を入れてもらいます。年長児はMR（麻しん・風しん）混合ワクチンの第2期があります。小学校入学前までなるべく早く受けるよう勧めましょう。尿や便もう1人でできますね。みんなと仲良く、楽しく遊び、散歩、食事などが出来ていますね、確認しましょう。家のこと、園での生活など話が出来ますか。小学校に入る前、再度よい生活習慣が身についているか確認しておきましょう。

3) 保育担当者からの気になること

問診票は保護者に書いてきてもらいますが、記載内容を確認し、園の生活と違いがあるような問題は園医に説明してください。

保育担当者からも気になることを確認し、健診用紙に記入しておきます。健診の際には保育担当者が必ず園医の傍に着いて、直接園医から意見や指示を受けましょう。

3 健康診断の内容

健診の目的を、以下の2点において実施する。

- 園児の発育・発達を評価し、健やかな育ちを保障する
- 保護者および保育士の“楽しい育児・保育”を支援する

この目的を達成させるための健診の内容を提案する。

- 1) 身体的発育の評価：全身を観察し、事前に用意してある発育曲線と合わせて評価する。
- 2) 運動発達の評価：[0～2歳児はいつもの保育室で] 移動動作、歩行、片足立ち、ジャンプなどの動作をチェックする。筋や関節の触診も重要です。

特に皮膚や筋・関節には手を触れ、その動きなどもチェックしてください。

[3歳以上児はイメージ図のように] 3～4歳でケンケン、5歳でスキップなどの動作を健診の場で観察し、その動作の習熟度および体のバランスなどによって評価する。健診の場に日頃の運動状況を見ている保育士に立ち会ってもらい、意見を評価する。

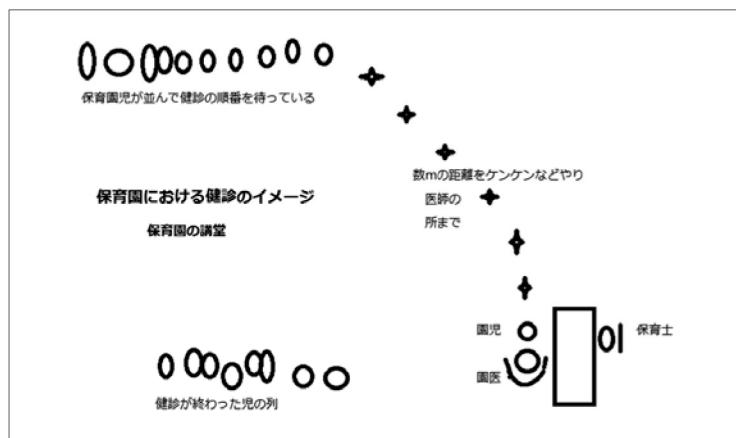


図1. 保育園における健診のイメージ

- 3) ことばの発達：健診前の問診でほぼ評価しておき、健診時には園医の前に立ち自分の名前をはっきり言ってもらい、簡単な会話で確認する。
- 4) 集団生活への適応性の評価：健診前の問診でほぼ評価しておき、健診現場では健診の順番を待つ間の態度および健診後の行動を観察することで確認する。
- 5) 精神発達の評価：健診前の問診でほぼ評価できるが、健診時のすべての行動などを観察して確認する。ただし問題ありそうで評価が困難な例は、児童相談所などと連携し各種テストなども行い判定する。
- 6) 身体各器官の機能の評価：健診のときに全身を観察し、呼吸器、循環器、運動器と一緒に診察を行い、その他に問題点があれば特別な検査などを行って確認する。
すべてを健診の場で解決することは不可能で、必要な場合は主治医あるいは専門医へ紹介することも必要であろう。（情報提供書などの用意もしておくと便利）

4 健康診断のあとに

1) 結果の記録および報告

健診の結果は、健診会場で同席した看護師あるいは担当保育士が、医師の意見や指示を記録する。その結果については原則として担当保育士から保護者へ伝える。ただし説明が難しいものに関しては、園医または看護師より保護者に説明する。この説明の際には担当保育士は必ず同席し、保護者と共通認識をもち、対応も協力して行う。

2) 結果に関する説明会

健診の結果が保護者および保育士の共通認識となり、さらにこれからのがんばりの“楽しい育児・保育”に生かさなければならない。そのためには、関係する園の職員および保護者などを一堂に会しての説明会が必要になることもある。そのような際には園医は積極的に協力しよう。

3) 個別相談

健診の結果を報告し、その対応策を保護者から相談された場合、多くは主治医と相談してもらうように指導しますが、主治医以外の専門機関などへの紹介は、稀ですが個別相談になることがあります。

保育園と家庭での対応について、保護者と担当保育士との3者での相談などは月1回定期相談日を設けて行うと、準備や日程調整なども順調に進められます。



おわりに



保育園における健康診断マニュアルを改訂しました

健診の目的は……

1. 園児の発育・発達を評価し、健やかな育ちを保障すること
2. 保護者および保育士の“楽しい育児・保育”を支援すること

の2点であることは前回作成時と同様です。

この目的を達成させるための健診内容を具体的に説明するとともに、前回作成時からの変更点を反映させました。

保育園における集団健診を、いかに効率よく実施するか、これは看護師（保健担当主任）等の健診前の準備に大きく左右されますので、園の健診担当者は「健診の準備」の項をしっかりとお読みいただき、特に問診票類はしっかりと揃えて健診に備えていただきたいと思います。

これまでの健診では、全身を観察し、呼吸器、循環器、運動器と一連の診察を行い「特に問題ないでしょう」、あるいは「心臓に雑音があるので主治医に相談してください」等で終了することが多かったと思われますが、運動機能、精神発達、さらに集団での適応状況なども評価していただきたく、健診内容を具体的に記載しました。

保護者および保育士の“楽しい育児・保育”を支援するためには健診の結果より保育園と家庭での協調した対応が必要になりますので、健診後の園医の役割についてもしっかりと果たしていただきたいと思います。

健康記録（1）

ふりがな				性別	生年月日		
児童名				(男・女)	平成	年	月 日
保護者	氏名： 続柄()、住所						
同居者	兄、弟、姉、妹、父、母、その他()						
分娩・出生歴	在胎	週、体重	g、身長	cm、頭囲	cm		
	異常なし	あり(病名：)					
既往歴	アレルギー歴	なし、あり()					
	けいれん	なし、あり(今までに 回、最初のけいれん 年 月 日、最終けいれん 年 月 日)					
	病気の記録	麻しん(歳)、風しん(歳)、水痘(歳)、流行性耳下腺炎(歳)、心疾患:なし、あり()、腎疾患:なし、あり()、入院:なし、あり()、その他()					
予防接種歴と既往歴と副作用歴		接種回数	接種済※	未接種※	感染既往※※		副反応※※※
①肺炎球菌		1回目			有・無()		有・無()
		2回目					
		3回目					
		追加					
②ヒブ		1回目					
		2回目					
		3回目					
		追加					
③四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)		I期1回目					
		I期2回目					
		I期3回目					
		追加					
④三種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風)		I期1回目					
		I期2回目					
		I期3回目					
		追加					
⑤ポリオ(生)		1回目					
		2回目					
⑥不活化ポリオ		1回目					
		2回目					
		3回目					
		追加					
⑦B C G							
⑧M R (麻しん・風しん)		I期					
		II期					
⑨水痘		初回					
		追加					
⑩口タ		1回目					
		2回目					
		3回目					
⑪B型肝炎		1回目					
		2回目					
		3回目					
⑫おたふくかぜ		1回目					
		2回目					
⑬日本脳炎		I期1回目					
		I期2回目					
		I期追加					
⑭その他 ワクチン名： ワクチン名： ワクチン名： ワクチン名：		回目					
		回目					
		回目					
		回目					
入園までの健診	異常なし、あり()						
入園までの発育	順調 問題()						
かかりつけ医	なし、あり()						
備考							

健康記録（2）

ふりがな																
児童氏名																
気になること	保護者															
	保育士															
身体計測	0歳児			1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		6歳児		
	身長	体重	頭囲	身長	体重											
	4月															
	5月															
	6月															
	7月															
	8月															
	9月															
	10月															
	11月															
	12月															
	1月															
	2月															
3月																
前期健康記録	年月日															
	身体発育	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	運動機能	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	精神発達	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	視覚	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	聴覚	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	総合判定 医師印	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
後期健康記録	年月日															
	身体発育	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	運動機能	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	精神発達	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	視覚	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	聴覚	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
	総合判定 医師印	良、		良、		良、		良、		良、		良、		良、		
注意事項 (心、腎管理など)																
備考 (検尿など)																

図1 乳幼児(男子) 身体発育曲線(身長)(平成22年調査)

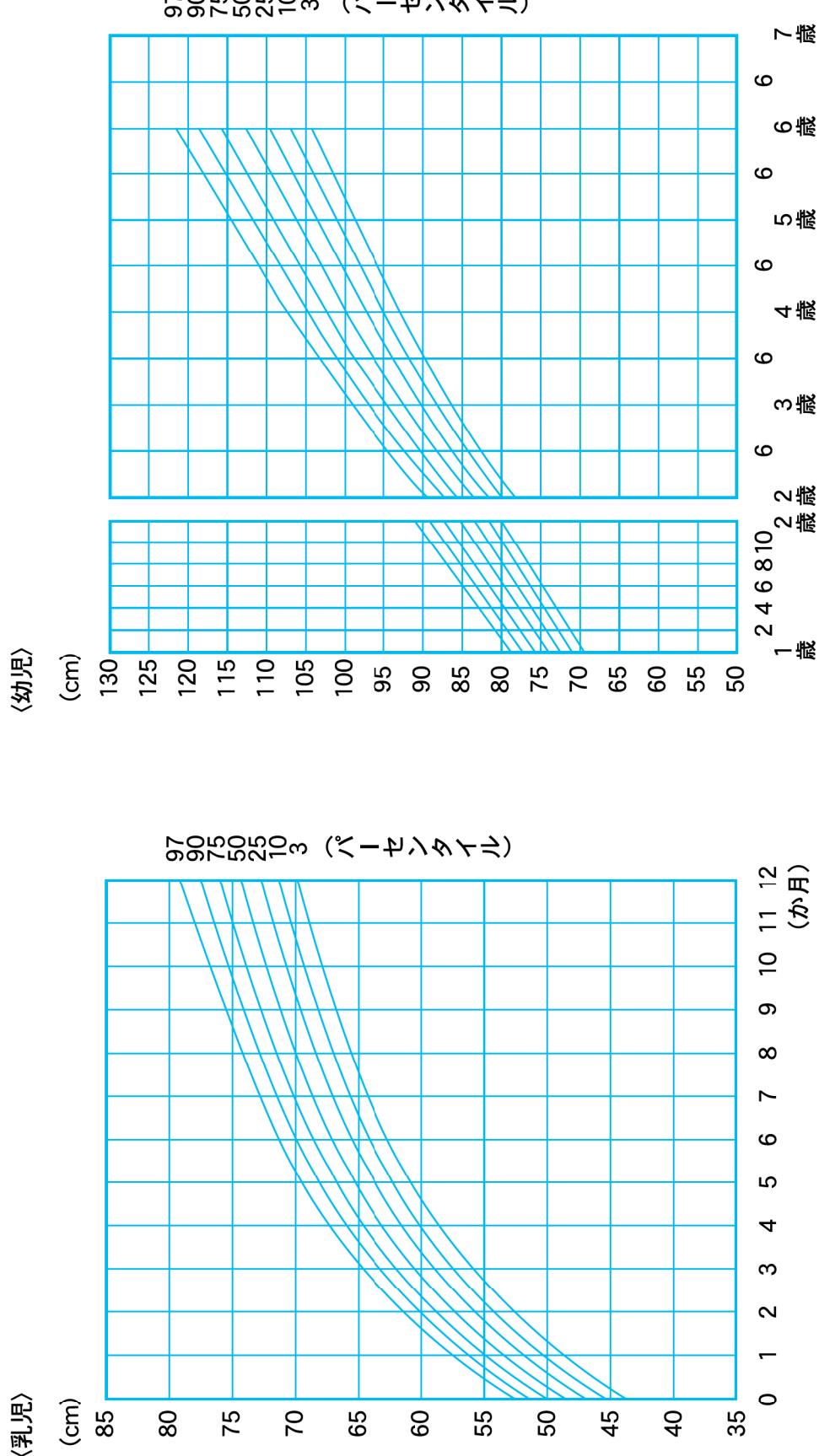


図2 乳幼児(男子) 身体発育曲線(体重)(平成22年調査)

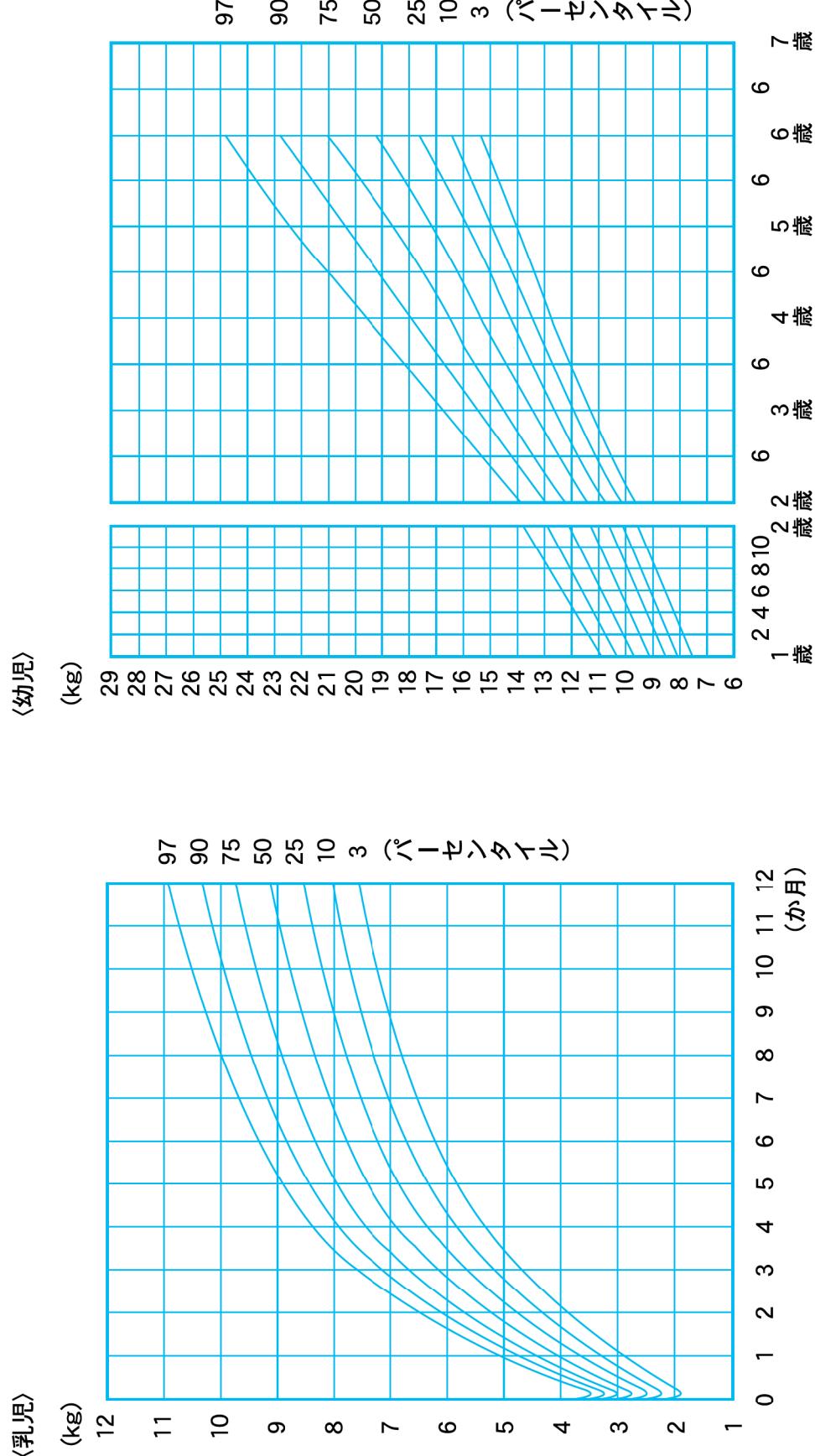


図3 乳幼児(女子) 身体発育曲線(身長)(平成22年調査)

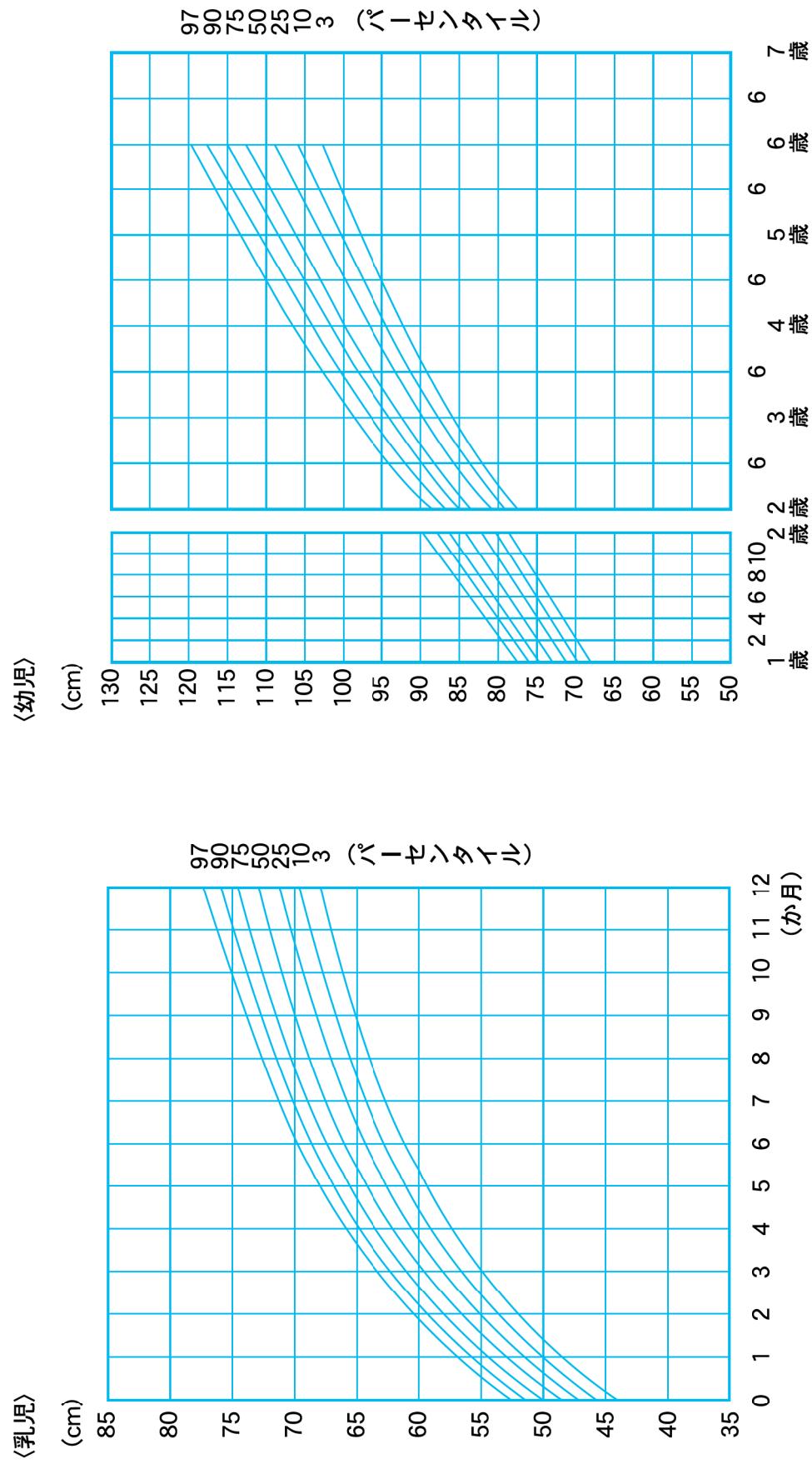
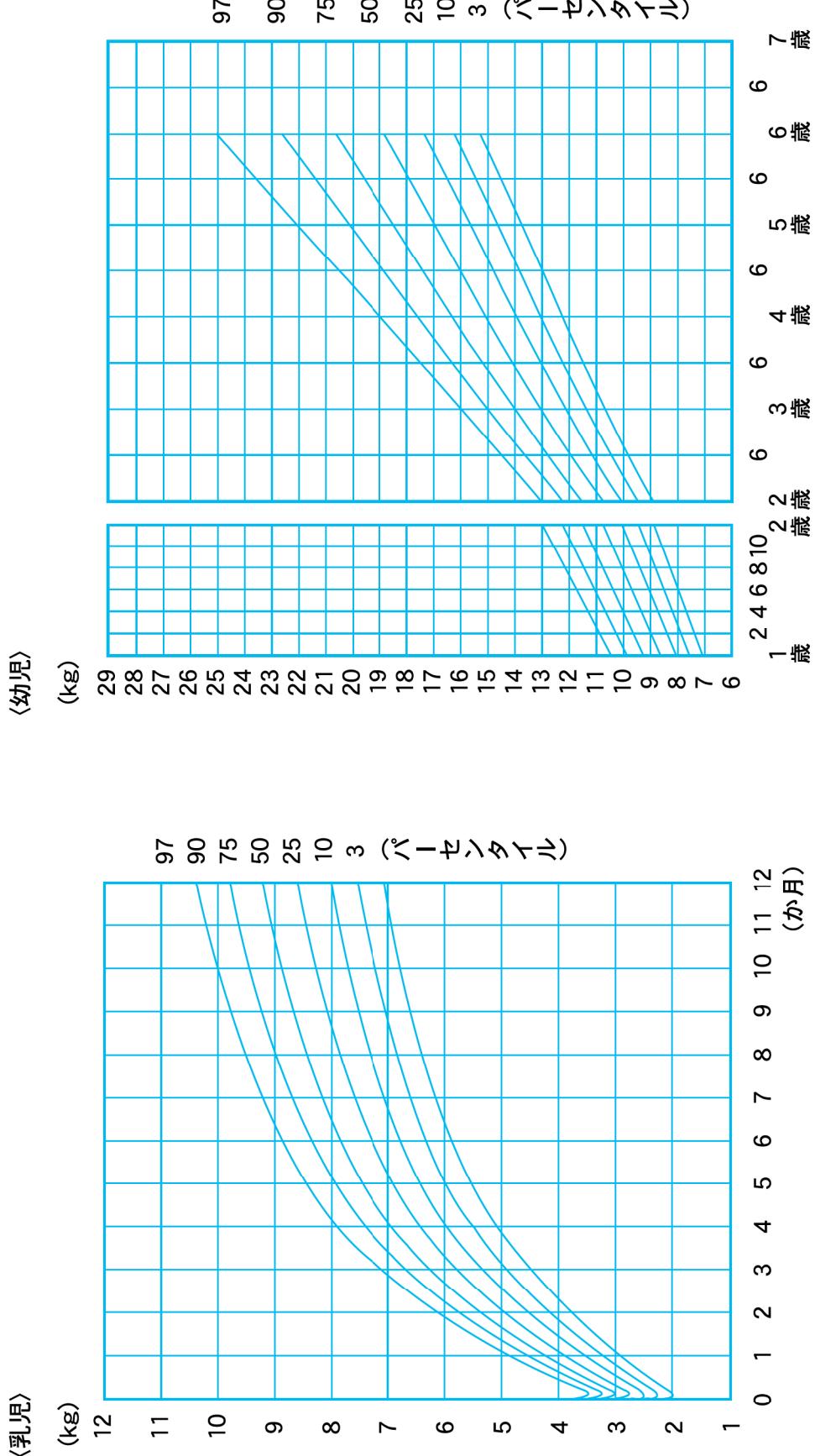


図4 乳幼児(女子) 身体発育曲線(体重)(平成22年調査)



神奈川県医師会 保育園医部会 幹事名簿

(任期：平成 27 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

部 会 長 古 谷 正 博

副部会長 澤 井 博 司・菊 岡 正 和・武 内 鉄 夫

篠 原 裕 希

幹 事

戸 塚 武 和 (横浜市) ○太 田 恵 藏 (横浜市)

恵比須 享 (横浜市) 太 田 史 一 (川崎市)

○中 島 夏 樹 (川崎市) 宮 本 朋 幸 (横須賀市)

川 井 未加子 (鎌倉市) ○小 西 好 文 (平塚市)

○遠 藤 郁 夫 (小田原) 林 秀 樹 (茅ヶ崎)

武 田 信 裕 (座間綾瀬) 加 藤 葉 子 (藤沢市)

大 跡 典 子 (秦野伊勢原) 堀 内 俊 満 (足柄上)

久保田 千 鳥 (厚木) 高 宮 靖 (逗葉)

藤 野 宣 之 (相模原市) ○野 呂 成 子 (相模原市)

小 林 紫 英 (大和市) 五味渕 一 三 (三浦市)

松 田 倫 夫 (中郡) 中 江 陽一郎 (海老名市)

◎：調査研究委員会委員長 ○：調査研究委員会委員



『保育園における健康診断マニュアル』2015

(平成28年3月 発行)

神奈川県医師会

横浜市中区富士見町3-1

電話 045-241-7000

FAX 045-241-1464